

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ

「研究をみせる：科学コミュニケーションの理念と技」

開催のお知らせ・募集要項

このワークショップは少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションをおこなっている研究者・学生の皆様を対象に、調査・研究に役立つ知見や知識を伝えることを目的としています。

今回は「コミュニケーター」をテーマとしたワークショップを開催します。近年、専門的な知識を一般の方々にもわかりやすく伝えることができる人材、つまり科学コミュニケーターの需要が高まっています。研究成果を一般市民とも共有し、科学の面白さや調査・研究の必要性を広めること、また社会・文化・環境などをめぐる課題について考えるきっかけを提供することが、大学や研究機関がなすべき社会還元（アウトリーチ）の一つと考えられているからです。アジア・アフリカ言語文化研究所でも、その一環として、「フィールド言語学カフェ」などをこれまでに開催してきました。

しかしながら、専門知を一般の方々にわかりやすく伝えることは、学会で研究発表をするのとは違った難しさがあります。そしてその難しさが何に起因するものなのか、それを克服するためにどのようなことに気を配ればいいのか、そもそも専門知を一般市民にも伝えることがなぜ必要なのか、といったことを体系的に学んだことがある人はあまり多くないのではないのでしょうか。そこで本ワークショップでは、科学コミュニケーターとして（も）活躍されている3名をお招きし、科学コミュニケーションの目的やわかりやすく伝えるためのテクニック、これまでの経験から学んだ知恵などについてお話していただきます。

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2019年3月15日（金）10:00～16:00

第1部 10:00～12:00 テクニカル・ワークショップ「研究をみせる」（前半）

13:00～14:00 テクニカル・ワークショップ「研究をみせる」（後半）

第2部 14:30～16:00 GEMS プログラム体験会「科学の目でふるいにかける」

2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）

マルチメディア会議室（3F・304）

3. 司会：青井隼人（AA研）

4. 登壇者：新永悠人（国立国語研究所）「自分の研究の面白さはどこまで届くのか？—非専門家に「面白さ」を伝える理由と実践例—」

金セツピヨル（総合地球環境学研究所）「映像ドキュメンテーションのあり方で考える人文知コミュニケーション」

鴨川光（ジャパン GEMS センター）「子どもたちの多様な学びに寄り添うファシリテーション」

5. 参加資格：テーマに関心のある研究者・学生（大学院生以上を原則とします）
※フィールド科学や言語学の専攻でなくても構いません。

6. 定員：30名程度

7. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。



<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/190315-flws-tech>

8. 申込締切：2019年3月14日（木）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）

9. 問い合わせ先：

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局
info-lingdy[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

10. その他：

- ・ワークショップは日本語でおこないます。
- ・ワークショップは2部に分かれています。第1部は登壇者のトークとそれに基づいたワークショップです。参加は無料です。途中で昼休憩を挟みます。
- ・第2部はジャパン GEMS センター主催の有料ワークショップとなります（参加費 1,000 円）。参加される方は、当日受付で参加費をお支払いください。なおワークショップのタイトルと概要は以下の通りです。

GEMS プログラム体験会「科学の目でふるいにかける」

専門知をわかりやすく伝える。聞き手側のところと頭の準備ができていない状況では、それはとても難しいものです。相手にわかりやすく伝えるための場づくりについて、体験から学ぶワークショップです。

- ・参加人数把握のため、第2部（有料ワークショップ）に参加されるかどうかを事前に専用フォームの「その他」の欄にご記入ください。当日参加も受け付けます。

※ご不明な点がございましたら、上記「9. お問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

※ジャパン GEMS センターの過去のプログラムにつきましては、

<http://japangems.org/workshop/> をご覧ください。

主催（第1部）：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

主催（第2部）：ジャパン GEMS センター

以上